

学部・研究科等の現況分析結果の活用方法について（案）

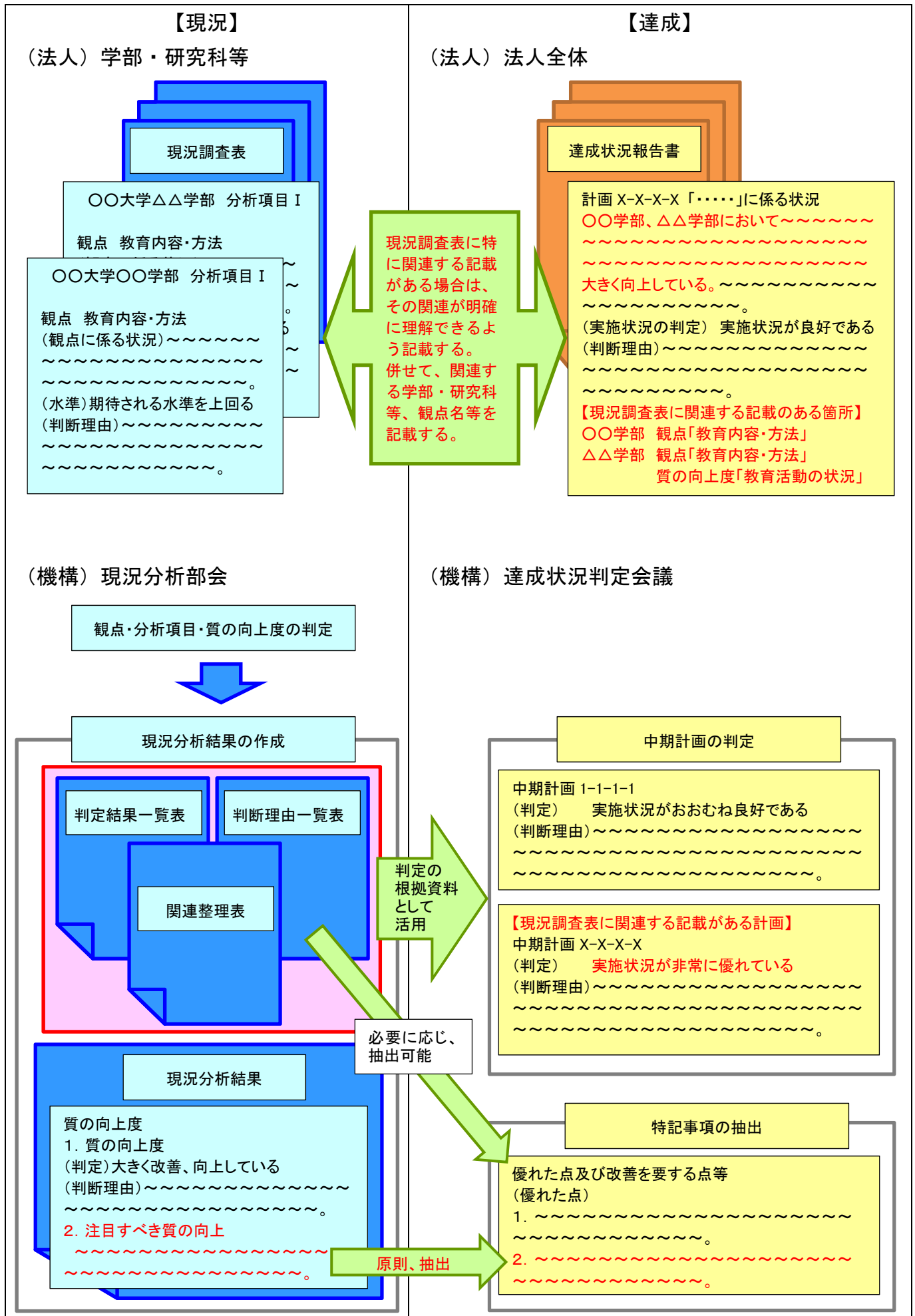
（これまでの決定事項等）

- 達成状況評価について、学部・研究科等の現況分析の結果を十分に活用するため、機構内の教育研究評価委員会における現況分析作業と達成状況評価作業を段階的に進めることが可能となるよう、評価実施スケジュールを見直した。
- 法人は、実績報告書を作成する際、学部・研究科等ごとの現況分析との関連を有する中期計画については、その関連を記載することとした。
- 評価者は、学部・研究科等の現況分析結果を活用して評価を行うこととした。
- 評価者は、学部・研究科等の現況分析において特に質の向上が見られると判断される場合、特記事項として抽出することとした。

《評価の方向性》

- 法人は、中期計画の分析状況の記述においては、現況調査表の観点等の分析状況に記述した内容と特に関連がある場合のみ、関連する学部・研究科等名等を記載する。
- 学部・研究科等の現況分析の結果を十分に活用し、中期目標の達成状況の評価を行うために、現況分析結果の概要（学部・研究科ごとの判定結果一覧表、判断理由一覧表（抜粋）、中期計画・現況分析結果の関連整理表）を評価者に提供し、評価者は、現況分析結果の概要を中期計画の実施状況の判定の根拠資料の一つとして活用する。
- 原則、現況分析において、「注目すべき質の向上」として記載されたものについては、関連する中項目の特記事項として抽出し、その外にも現況分析結果に特筆すべき事項があった場合には、関連する中項目の特記事項として抽出する。
- 上記の手続きにより、第1期で実施した、現況分析結果と達成状況判定結果との大きな乖離があった場合に段階判定を変更する手続きは行わない。

現況分析結果の活用方法イメージ図



現況調査表に関連する記載がある計画の活用方法(例)

【5学部を有する大学の場合】

達成状況報告書

中期計画 X-X-X-X 「学生の主体的な学習を促進するため、学習成果を可視化し、学生自らが学習の進捗状況を管理できる仕組みを導入する。」に係る状況 (実施状況) ○○学部、△△学部において、GP「~~~~~」により、~~~~~ループリックを活用した「○○大学学習管理システム」を構築した。このシステムにより、各教育プログラムにおいて、~~~~~できるなど、学生自らが学習成果を管理することが可能となり、~~~~~○年度に比して、大きく成績が向上している。また、学生アンケートにおいても、~~~~~と評価されるなど、学生の学習意欲が大きく向上している。このシステムは、△年度より□□学部、××学部、◎◎学部にも導入し、同様に、学習の進捗管理を実施している。 (判定) 「実施状況が良好である。」 (判断理由) 今回構築した「○○大学学習管理システム」により、学生自らが学習成果を管理し、~~~~~など、大きく成績が向上し、また、学生の学習意欲も大きく向上している。したがって、優れた成果が上がっているため、達成状況は良好であると判断する。 【現況調査表に関連する記載のある箇所】 ○○学部 観点「教育内容・方法」 △△学部 観点「教育内容・方法」 質の向上度「教育活動の状況」
--

現況分析結果

○○学部	△△学部	□□学部	××学部	◎◎学部
観点 「教育内容・方法」 (関連記載あり) 判定:「水準を上回る」 【最上位】 質の向上度 「教育活動の状況」 (関連記載なし) 判定:「改善、向上している」	観点 「教育内容・方法」 (関連記載あり) 判定:「水準を上回る」 【最上位】 質の向上度 「教育活動の状況」 (関連記載あり) 判定:「大きく改善、向上している」 【最上位】	観点 「教育内容・方法」 (関連記載なし) 判定:「水準にある」 質の向上度 「教育活動の状況」 (関連記載なし) 判定:「維持している」	観点 「教育内容・方法」 (関連記載なし) 判定:「水準にある」 質の向上度 「教育活動の状況」 (関連記載なし) 判定:「維持している」	観点 「教育内容・方法」 (関連記載なし) 判定:「水準にある」 質の向上度 「教育活動の状況」 (関連記載なし) 判定:「改善、向上している」

中期計画の判定例（現況分析結果の概況を判定の根拠資料として活用）

【達成状況報告書の記述、現況分析結果等のみで段階判定が可能な場合】

達成状況報告書の記述、現況分析結果等から法人全体の状況を確認した結果、○○学部、△△学部で非常に優れた成果を上げており、法人全体として十分な成果といえるため、中期計画の実施状況として「特筆すべき」成果といえる、と判断。

⇒ 「非常に優れている」

【達成状況報告書の記述、現況分析結果等のみで段階判定が不可能な場合】

達成状況報告書の記述、現況分析結果等から法人全体の状況を確認した結果、○○学部、△△学部で非常に優れた成果を上げているが、記述内容等のみでは法人全体としての成果が明らかでなく、中期計画の実施状況として「特筆すべき」成果か否かの判断が不可能である、と判断。

⇒ 追加資料の提出依頼

現況分析結果 判定結果一覧表(案)

〇〇大学

学部・研究科等	教育						研究					学系
	教育活動			教育成果			研究活動			研究成果		
	実施体制	内容・方法	質の向上度	学業の成果	進路・就職	質の向上度	研究活動	共同利用・共同研究	質の向上度	研究成果	質の向上度	
〇〇学部	2		3	3		3						人文系
	2	3		3	2							
△△学部	4		4	3		3						社会系
	3	3		3	2							
□□学部	2		2	2		2						理学系
	2	2		2	2							
××学部	2		2	2		2						教育系
	2	2		2	2							
◎◎学部	2		3	1		1						工学系
	2	2		1	2							
〇〇学部・〇〇研究科							2		2	2	2	人文系
							2			2		
△△学部・△△研究科							2		2	2	2	社会系
							2			2		
××学部・××研究科							2		2	2	2	教育系
							2			2		
▽▽研究科							3		3	4	4	総理系
							3			3		
◇◇研究センター							2		3	3	3	総融系
							2	2		3		
平均	2.4		2.8	2.2		2.2	2.2		2.4	2.6	2.6	
	2.2	2.4		2.2	2.0		2.2	2.0		2.4		

観点「期待される水準を上回る」、分析項目「期待される水準を大きく上回る」
質の向上度「大きく改善、向上している 又は 高い質を維持している」

観点「期待される水準を下回る」
質の向上度「質を維持しているとはいえない」

(観点・分析項目)
「期待される水準を大きく上回る」 4
「期待される水準を上回る」 3
「期待される水準にある」 2
「期待される水準を下回る」 1

(質の向上度)
「大きく改善、向上している 又は 高い質を維持している」 4
「改善、向上している」 3
「質を維持している」 2
「質を維持しているとはいえない」 1

現況分析結果 判断理由一覧表(抜粋)(案)

〇〇大学

学部・研究科等	教育研究	項目	判定	判断理由
〇〇学部	教育	【観点1-2】 教育内容・方法	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
	教育	【観点2-1】 学業の成果	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
△△学部	教育	【観点1-1】 教育実施体制	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
	教育	【観点1-2】 教育内容・方法	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
	教育	【分析項目1】 教育活動の状況	4	~~~~~ ~~~~~において特筆すべき成果であり、~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を大きく上回ると判断される。
	教育	【質の向上度】 教育活動の状況	4	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~の点で、大きく改善、向上していると判断される。
	教育	【観点2-1】 学業の成果	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
◎◎学部	教育	【観点2-1】 学業の成果	1	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~期待される水準にあるとはいえないことから、 期待される水準を下回ると判断される。
	教育	【質の向上度】 教育成果の状況	1	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~の点で、質を維持しているとはいえないと判断される。
▽▽研究科	研究	【観点2-1】 研究活動の状況	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
	研究	【観点2-2】 研究成果の状況	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
	研究	【分析項目1】 研究成果の状況	4	~~~~~ ~~~~~において特筆すべき成果であり、~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を大きく上回ると判断される。
	研究	【質の向上度】 研究成果の状況	4	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~の点で、大きく改善、向上していると判断される。
◇◇研究センター	研究	【観点2-2】 研究成果の状況	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。

観点「期待される水準を上回る」、分析項目「期待される水準を大きく上回る」
質の向上度「大きく改善、向上している 又は 高い質を維持している」

観点「期待される水準を下回る」
質の向上度「質を維持しているとはいえない」

中期計画・現況分析結果 関連整理表(案)

〇〇大学

中期計画	学部・研究科等	教育研究	項目	判定	判断理由
X-X-X-X	〇〇学部	教育	【観点1-2】 教育内容・方法	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
	△△学部	教育	【観点1-2】 教育内容・方法	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
		教育	【分析項目1】 教育活動の状況	4	~~~~~ ~~~~~において特筆すべき成果であり、~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を大きく上回ると判断される。
		教育	【質の向上度】 教育活動の状況	4	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~の点で、大きく改善、向上していると判断される。
Y-Y-Y-Y	□□学部	教育	【観点2-1】 学業の成果	2	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準にあると判断される。
	××学部	教育	【観点2-1】 学業の成果	2	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準にあると判断される。
Z-Z-Z-Z	▽▽研究科	研究	【観点2-2】 研究成果の状況	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
		研究	【分析項目1】 研究成果の状況	4	~~~~~ ~~~~~において特筆すべき成果であり、~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を大きく上回ると判断される。
		研究	【質の向上度】 研究成果の状況	4	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~の点で、大きく改善、向上していると判断される。
	◇◇研究科	研究	【観点2-2】 研究成果の状況	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ことから、期待される水準を上回ると判断される。
		研究	【質の向上度】 研究成果の状況	3	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~の点で、改善、向上していると判断される。

観点「期待される水準を上回る」、分析項目「期待される水準を大きく上回る」
質の向上度「大きく改善、向上している 又は 高い質を維持している」

観点「期待される水準を下回る」
質の向上度「質を維持しているとはいえない」